

設楽ダムの建設中止を求める会

第41号 2016年1月20日

<http://www.nodam.org/>

年頭に当たって

2016年1月

設楽ダムの建設中止を求める会
代表 市野和夫

皆様、新年を迎えてお変わりありませんか。

甘やかされて何でも欲しいものが手に入る環境で育ってしまった首相が独裁者の振る舞いを続けた2015年が終わり、何とも嫌な気分新年を迎えました。未だすっきりとおめでとうとは、言えないでおりますが、2016年、今年もしっかり頑張りたいと思います。

2008年のリーマンショックで、アメリカ経済学の主流（シカゴ学派）の新自由主義の破綻・誤りは明確になりました。現在は、競争一辺倒の新自由主義ではなく、富の偏りをなくして、多様な人々が共に生きるための仕組みを育てる課題こそが求められているのではないのでしょうか。アメリカがやってきたことこそが進むべき進路のモデルだと、日本の政治が舵取りしてきたように思いますが、根本的な見直しが必要だと思います。

一昨年に亡くなった理論経済学者の宇沢弘文氏は、「社会的共通資本」の概念をたてて、人々が生きていくための基本的な基盤である環境を保全していくことの大切さを強調しました。この主張は、日本全国をくまなく歩いて地域が生きていくあり方を説いている藻谷浩介氏の「里山資本主義」の主張と合っているように思います。

現政権は、福祉や教育の予算を削り、法人税を下げ、いっぽうで軍事費を大幅に増やし、財源も明らかにせずに選挙目当て・買収とともとれるバラマキ予算案を組んできました。このままでは、山川海の自然環境、すなわち社会的共通資本は破壊されつくして、本当に悲惨な状態となることは目に見えています。原発輸出、石炭火力の推進やリニア新幹線建設などなど、経済成長一本やりに加えて、富国強兵という時代遅れの現政権の路線を根本から変えていくことが、今年の課題ではないのでしょうか。

《設楽ダムについて》

設楽ダムについては、これまでで最大の53億円の概算要求が振り当てられ、転流工が含まれています。このまま行くと、数年内に本体工事が始まります。迷惑施設のダム建設を引き受ける見返りとして、地域振興の課題を捉えるのではなく、社会的共通資本として、大気と水、森林・土壌・川・海とそこに棲む生物たちを保全しながら、持続可能な地域づくりのために必要な課題に取り組むという姿勢が大事だと思います。

昨年までのわれわれの取組で、ダムサイト直近を通る断層破碎帯が隠されていることが明らかになりました。国の地質調査報告書を読む限り、北側からダムサイトに向かう断層がダムサイトまで続いているのか否かの調査が実施されていません。また、右岸の二重山稜地形の詳細調査も、左岸側の田口地区への地下水浸透問題や水漏れ可能性の詳細調査も実施されていません。ダム建設上、立地選定段階でなすべき調査がなされておらず、建設に不都合な事実は隠されています。今年は、この問題に正面から取り組みます。

不要かつ、地域と自然を破壊し、危険な設楽ダムを止める歴史的な年としましょう。



立木トラスト6周年記念事業報告

みなさまのご協力で、たくさんの方々の参加をいただき無事終了できました。ありがとうございました。以下報告です。

1 部 報告会 設楽ダム予定地周辺の地質地盤問題について

▼2015年11月22日（日）豊川市桜ヶ丘ミュージアム 会議室 報告者／市野和夫代表

・報告文は「立木トラスト運動 6 周年記念事業における I 部報告会／設楽ダム予定地周辺の地質地盤問題について」の報告要旨を基に、同 28, 29 日に実施した国土問題研究会の設楽ダム第二次調査報告結果を踏まえて、見直し・修正を行った（2016年1月15日）以下の報告書から引用させていただきました。

【地質地盤の要件を満たさない設楽ダム建設事業は中止を！＝ダムサイト選定段階の国の地質調査報告書に対する批判的検討および現地調査結果から＝】

●ダムサイト選定段階における国の地質地盤調査報告書に見られる問題点

建設省中部地方建設局（現・国土交通省中部地方整備局）設楽ダム調査事務所が、設楽ダム建設計画においてダムサイト選定段階でまとめた、「平成4年度設楽ダム地質検討業務委託報告書」にダムサイトの懸案事項には、断層、水漏れ、二重山稜地形、緩みゾーンの4点が挙げられている。

この時期に相当する H4 年度ダムサイトボーリング調査報告書や H5 年度地質検討業務委託報告書、最終的に現在のダムサイト位置が確定される平成10年度までの地質調査報告書等を熟読して見たところ、以下の問題点が浮かび上がった。

①北側からダムサイト方向に向かう少なくとも2本の既知の断層があり、H4 年度地質検討業務報告書ではその連続性を調べる必要性が述べられていたが、H5 年度地質検討業務報告書では、その必要性が削除されたこと。

該当する2本の断層のダムサイト寄りの端はいずれも「健岩^(注1)露頭」に突き当たるので、そこまでの断層とした」とされ、ダムサイト地点までの連続性については調査されていない。（注1：堅岩の誤り）

②H4 年度のボーリング調査報告書および、同 その2 の地質平面図に明示された、F-1 リニアメント（のうち、南側の北東-南西方向の成分）、および F-5 リニアメントが、H5 年度報告書では消され、一覧表の走向傾斜、破碎帯規模などの記述が、H5 年度報告書の本文や H4 年度ボーリング調査報告書の記述と矛盾したり、異なっていること。この一覧表がその後の報告書に継続して引用されている。

③松戸地区の二重山稜地形の核心部分である平坦地（凹地）のボーリング調査計画は H4 年度に立てられたけれども、その後、実施されなかった。

④H5 年度の地質検討業務委託報告書で水漏れの恐れがあると指摘されていた F-1 断層（南北成分）の南側への連続性についての確認がなされていないこと。

⑤H10 年度ダムサイト右岸ボーリング調査報告書によると、低角度の F-3 断層が右岸松戸尾根のダムサイト接岸部を切っており、横坑調査で見つかっている低角度断層に連続する可能性と、いわゆる緩みゾーンとの構造的関係も考えられることが指摘されていること。また、この断層の詳細調査が必要とされているが、その後実施されていないこと。

現地調査による調査、確認

- ・ F-1 の南側に連続する破碎帯の確認
 - ・ 本宮山方面からのダムサイト方向に向かう大きな断層の存在の確認
 - ・ ダムサイト予定地周辺の隠れた断層・破碎帯の確認
 - ・ 第三紀層の分布の確認
 - ・ 松戸尾根の深層崩壊の恐れ
 - ・ 左岸清崎側の尾根～山腹にかけて、直線状の凹地形がみられることから、深部まで岩盤が緩んでいる可能性が高く、左岩も深層崩壊の恐れや、水漏れの恐れがある。
- 以上

なお、3月13日（日）「設楽はいま」の見学会を行います。上記露頭も見学の予定。

奥三河総合センター11：00集合 どなたでも参加できますが、資料の準備上予約をお願いします。

2部／立木トラスト山見学と木札付け作業、そして松戸集落を歩く

2015年11月29日（日） 案内人／伊奈紘副代表



○印は今回見学した箇所。（地図は伊奈副会長作成）

地元住民の伊奈副代表の案内で、11あるトラスト山や木札の付け替え作業、新たな参加者の木札付けなどが時間通りにこなすことが出来ました。

参加者数は27人でマイクロバス＋乗用車2台で動きました。今回が初めてという参加者が目立ちました。

既に5年を過ぎた木札は、シュロ縄が切れて落ちてしまっている状態でした。

今年1年かけてすべての木札の取換えの必要があることがわかりました。

松戸集落では区長さんと1時間話し合うことができました。この話し合いが持てたことは大変有意義でした。

72歳になる区長さんからは、
・「もう私の時代でダム問題は解決させたい。」

・「集落に暮らすのは現在8戸、一番若いのが45歳でそれも一人いだけ、超限界集落である。」

・「国交省から松戸と田口を結ぶ橋を造る、休耕田となっている土地に公園を作る、との話がある。」

ことなどの現況を伺うことが出来ました。

帰りのマイクロバスのなかでは、参加者から、もっとこういう仲間が触れ合う時間を作ってほしいという意見が出されました。また、翌日、松戸地区の草刈りの協力をしたい、という申し出のFAXをいただきました。

・ダムを止めることばかりに意識が行って、現地の皆さんに寄りそうという姿勢が弱かったかと思います。今後は現地の方々の気持ちを受け止めた運動の必要性を考えさせられた事業となりました。



木札のとりつけについて注意事項を聞く参加者

中部地整に設楽ダム計画停止の申し入れと

愛知県庁記者クラブで記者会見を行いました。 2015 年 12 月 16 日



ダムサイト直近に無視できない大きな断層破碎帯（平成 4 年度ボーリング調査報告書の F-1, F-5）が存在することを確認しました。一般に、規模の大きい断層破碎帯の存在、深層崩壊を起こす危険性、あるいは水漏れの可能性が否定できないところに、ダムを開発してはならない。ところが設楽ダムの建設予定地は前記の危険な可能性をすべて抱え込んでおり、ダム建設の地質地盤要件を欠いています。このことから即刻計画の停止をすべき、と申し入れました。

特に設楽ダム建設予定地の地質地盤が悪い、その背景について

国の地質業務検討報告書には書かれていない北北東—南南西方向の大きな断層破碎帯がダムサイト左岸直近を通っている。“ない”こととされている「第四紀断層（活断層）」の可能性が高く、その横ずれ断層運動により、岩盤に広範囲に亀裂が生じ、ゆるみが生じているものと推定される。緩んだ岩盤が、重力により落ち込む正断層も多数見られる。

と、説明し、その危険性を指摘しました。（申し入れ書は別紙を参照してください。）

今回の申し入れの位置づけは、地質地盤の問題について、ダム建設中止を中部地整に対して直接に働きかけるアプローチの事始めです。これから、地質の専門家等にも出番をお願いして、大きく社会問題化していく予定です。

中部地整への申し入れには、5 人参加。地整の河川政策課の主査の方が対応されました。

（写真下：中部地整にて 申し入れ書提出 2015 年 12 月 16 日）



（写真上：愛知県庁記者クラブで会見 2015 年 12 月 16 日）

設楽ダムに破碎帯
計画停止申し入れ
国に市民グループ
設楽ダム（設楽町）
の建設計画に関し、市
民グループ「設楽ダム
の建設中止を求める
会」が十六日、「活断
層と推定できる破碎帯
がダム予定地付近を通
っている」として、国
土交通省に計画の停止
を申し入れた。市野和
夫代表（元愛知大教
授）らが名古屋市中区
の国交省中部地方整備
局を訪れ、担当者に文
書で要請した。
国交省は「ダム計画
地に問題となる活断層
は確認されていない」
との見解。
これに対し申し入れ
書では、国の地質調
査結果で明らかになっ
ていない破碎帯の存
在などを指摘し、計画
の見直しを求めている。
る。

中日新聞 2015 年 12 月 17 日付

支援を！

地権者らが開会阻み審理中止 石木ダム事業〔長崎県〕 西日本新聞 2016 年 1 月 15 日付



県と佐世保市が川棚町に計画する石木ダム事業で、県収用委員会（戸田久嗣会長）は14日、長崎市大橋町の長崎振興局で未買収の農地や山林計3442平方メートルについて地権者から意見を聞く審理を開こうとしたが、ダムに反対する人約40人が委員7人の会場入りを阻んだため、審理そのものを中止した。

同事業をめぐる県収用委の審理では昨年、地権者側の審理拒否が続いている。

石木ダム建設絶対反対同盟を支援する会：

遠藤保男（電話）045-877-4970

携帯は 090-8682-8610

mizumondai@xvh.biglobe.ne.jp

設楽ダムはいま

旧八橋小 あす解体開始



間もなく姿を消す旧八橋小の木造校舎＝設楽町八橋で

設楽ダム水没集落の中心施設

設楽ダムに沈む設楽町 校舎の完成は、太平洋戦争末期の一九四四（昭和十九）年一月。近くの八橋地区で、旧八橋小学校の校舎解体工事が七日から始まる。山あいの集落で七十一年間、静かなく、高等科を設置できなかった木造校舎は、来年一月までに姿を消す。

校舎の完成は、太平洋戦争末期の一九四四（昭和十九）年一月。近くの八橋地区で、旧八橋小学校の校舎解体工事が七日から始まる。山あいの集落で七十一年間、静かなく、高等科を設置できなかった木造校舎は、来年一月までに姿を消す。

田口中学校（現設楽中学）に学校へ集まった。

児童数の減少に伴い、八橋小は七一年三月に閉校。その後二十年ほど、常滑市の野外教育センターとして使われた。校舎の床面積は、増設部分も含め千四百五十平方メートル。

解体工事は、校舎内の物品搬出で始まり、屋根瓦を撤去した後、重機で建物を取り壊す。六〇年に八橋小を卒業した設楽町商工会長の伊藤誠さん（左）も「長江」は「往復六〇年の山道を歩いて通った。校舎には思い出がいっぱいある。寂しいけど、仕方ないですね」と名残を惜しんだ。

（鈴木泰彦）

中日新聞 2015, 12 月 6 日付



1月31日「伊勢湾流域圏の再生シンポジウム」が四日市で開催されます。

2016年1月31日（日）

13:30～16:00（開場 13:00）

会場：じばさん三重 6F ホール

定員：100名／資料代 500円 ※学生無料

★要予約：資料準備のため

主催：伊勢・三河湾流域ネットワーク 中部環境を考える会
国連生物多様性の10年市民ネットワーク 四日市ウミガメ保存会
よみがえれ長良川実行委員会 090-1284-1298（武藤）

◆基調報告

高山 進（伊勢三河湾流域ネットワーク代表世話人）

◆講演「伊勢湾の環境の今」

講師 石原義剛（海の博物館館長）

◆シンポジウム「伊勢湾流域圏の再生」

<パネラー> 千葉 賢（四日市大学教授）伊勢湾の海流と答志島のごみ

千葉 賢（四日市大学教授）伊勢湾の海流と答志島のごみ

森 一知（四日市ウミガメ保存会代表）ウミガメが上る浜づくり

向井 貴彦（岐阜大学准教授）木曾三川の魚たちと伊勢湾

<コーディネーター>

三石朱美（国連生物多様性の10年市民ネットワーク）



★「日本と原発」～私たちは原発で幸せですか？～の上映会が開催されます。

映画は、原発事故発生当初に起こった知られざる悲劇から幕を開ける！

原発差止訴訟を展開する弁護士・河合弘之氏が監督した原発の不合理を解き明かす映画です。

開催日と会場：

豊橋	2016年2月6日（土）	14:00～	17:00～
	豊橋市民文化会館 リハーサル室	問合せ	080-3073-9003（伊東）
豊川	2016年2月7日（日）	10:00～	14:00～
	豊川市勤労福祉会館 視聴覚室	問合せ	090-8556-8301（林）
湖西	2016年2月14日（日）	13:30～	
	湖西市新居地域センター 視聴覚室	問合せ	090-3301-5704（河西）

主催／さよなら原発東三河ネットワーク 他2団体

○「設楽ダムの建設中止を求める会」はさよなら原発東三河ネットワークの賛同団体です。



設楽ダムの建設中止を求める会：<http://www.nodam.org/>

代表 市野和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町1-3 0532-54-7305 okumiya@xj.commufa.jp

「設楽ダムはいま」の見学会 を開催します。

設楽ダム関連事業の進捗状況やこの度発見された露頭などを見学します。

- ・開催日：3月13日（日） 奥三河総合センター 11時集合

（設楽町田口字向木屋 2-10 電話：0536-62-0100）

大体1時間の説明を受けて、昼食。その後マイクロバスで動いたり歩いたりします。

- ・参加を希望される方は申込用紙にお名前、ご連絡先をご記入の上事務局（奥宮）までお知らせください。FAX 0532-54-7305 または
問合せ／090-7698-3652 okumiya@xj.commfa.jp（奥宮）
ホームページ <http://www.nodam.org/> からでもできます。
豊橋、豊川方面からマイクロバスを利用される方は利用料500円が必要です。

- 1、雨天の場合は中止します。
- 2、歩きやすい服装でお越しください。一応雨具の用意もされるといいでしょう。
- 3、昼食、飲み物は各自ご持参ください。但し、昼食用弁当をレストラン山河（奥三河総合センター内）に予約（800円：税込）します。ご希望の方は申込用紙にご記入ください。
- 4、資料を用意する関係上大体の参加者数を知りたいと思います。お申し込みをお願いします。

「設楽ダムはいま」見学会参加申し込み書

申込は3月6日までにお願いします。

お名前 (参加人数)	() 人
ご連絡先	携帯または電話
マイクロバスを利用する方は乗り場に○印をお願いします。 一人500円(子供無料)です。	() 豊橋駅前(東口)にある豊橋信用金庫豊橋駅前 ATMコーナー前(9時出発) () JR 豊川駅前東口(9時30分出発)
昼食を注文する人は○を書いてください。	注文する 人